東海道中膝栗毛五編

上

九

へ13
3681
9

門へ13
號3681
巻9

縣栗毛五編序

歌人

居所ゝ名所を
えらぶ。雅人行て名不試
探る。今年五篇目の
獵栗毛を十編合告侍

主人の手紙をかいくりく
りかけて読む伊勢の海
子日の濱おゆ深くうがちく
酒盃を花ちる貝赤し古詩を
温て新しく趣向を見すぼ

筆のすさびも孫をのこ
名おを走る馬を行る勢て
唐すなおと是作者の需ゆ
遊ぶてといふ蛇の皮を先ま
せめゆ筆を採し兵隊の

一杯がすぎ田のむかへの。香ふ
ひうれしさるうかきんさ。ゆえ
茶余客のしるすと。謂んを

文化丙寅春　　鬼山人蘭夜誌

東海道中膝栗毛五編上

十返舎一九著

宮重大根のごとくそそり立たる姫はの。ふろ敷きの焼き田
の神の岩船を。七重の日ぐ。流ゆるふしてを。茶筅の
浪。私雀ちく。蓋をふたきする姫びのあまり。ふん
ぶんの姫蛤よ。酒くを加へて。の法師夢を勝者八
ちるものやうで。をを出こで。いかでよ。此法師人の
うくふとさけび。まつ川さで。ふげふさんせ。宮の

おあ姫が情ゑ不ヤレコリヤ。よヲしくくよ〜コレ是非元戻り
るのらんせんらんよヲ〜〜よ〜〜やまんよ。うんぶ面ネ〜ご
ゆ〜まんら〜よヲ〜〜よ〜〜せうろく四文でのるべんらそん
ちゃ〜〜よヲせよせヒイン〜〜〜

モレ見れば、ちんぐ、いつそ見れば、ぎぐうまと同サ風ぐ
風であるそぐ、さそうでざそうまと、かうふまそぐのぐそく。
暖　ちらそうゆくなぐよ。

まるくもちふくれ。安中村を新宿として。
町や川ふさうれば、ほそ〳〵ながめをあぐ。

旅人を茶屋の暖の春ふ招くせく
のぼりくだりを中ちる川うる

新町宿でちをを村おふけ村ふぐうつくぱあうも
輪の名画。旅人とかうけて。少休の所を作をく
おそいりなうまアせ。旅向もおめしもぐうまを。

おもくるしうまアせ〳〵。紙がるいを中ふ名。とれ
が〳〵二百年の長下場ぐや安らしてめきぬうの所ぐやかぐ
入〳〵ぬ所のおやぐ。見形とのせりふしてたんせ度
おや。やまあふ所ぐ人合いおひろがおまを紙ぐ訳ふいまく
モレ見れ。やまをして中〳〵まるの所をやまをてへいやぐ。るく
るなぐ〳〵のりやせうそ〳〵。るうしてこ百いぐできる
まるふる所いやぐ〳〵。ちいとうくや絵へう所アまのんぐ
やまいなく〳〵。やぐげんとて一まを貴五百ぐうあく。の所て

やうなこゑをあげて。さて。其後
ゆうべいとうれませぬ。さてあさ方でめしてゐたんたんら
ぶ二人でも無ふ〳〵いまごろ
そこらゝゝとうれる七百ぐんせ逆ゝやくめへとぶ。ゆうべし
まう無ふ百よりまうゝねゝく。そこて叔こまつこりんどや。
それよりちんともまゝゝまいり。まらぬく。ゆうなんの
えるよどやかごうのかうゝ。逆さるゝいかめでしいまよ
ぶんこんこまゝあるはでやゝまいら。其後めゝまもく

逆二
ゝそれでいろ。そるくのゆうるゝふ。逆よとこりちん
世ゝゝはやちゝゝぬぐかゝてんゝあげませおとゝも。ゝそん
ちゝゝこそこゝゝで。まま無ふ百ふ拾文。こゝちん逆よふはし
ひゝゝて。のこゝゝ文千のかどちんぶが。それで那ゝうこゝぐ
ゝそんま。こんであゝどこひゝうもちん賢ゝとでまげ
ゝんまゝうぐゝゝゝこゝゝの長ゝぐでこゝこゝ
ようび人とのせゝるはりで。ゝ家乃
ゝん。あ形よ。ゝかいつぐれよりあ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あゝべ業にて今まで。たゝほけぬる難でゴレ又や。あゝ
ぢうぶ百ぶ〜けふかの〜こゝろんゆるゆ。ふたゝびめて
ヨ〜〜どもおたゝかたうと。ゝ〜〜。其ほうぎれど真髪
〜〜こゝえんぶこと〜〜。これはあんまり長ぐ金へ〜〜ぶ
う〜〜。コヤ〜〜どのひもぐ〜へ〜〜んさのぶ。附ふ。も色〜〜へ
ハイ〜〜ヨ今あげ事と〜本〜〜〜

あさけのさと　星川

さと舟も　素くとを　いて　さとの名の

京舟　きけそ

いと　星川

長陽　蛙面水

日永川

入りあひし

あま舟の　さとも

ともしれぬ　くれ

春の日永の

ながしうれて

仝

南瓜蔓人

ちゃうぢやなう。ちとうまうろふ（女のちうをちやうまうろふ）ぜんな
さるわいのふかうえてじや（戯）かれもをえよ（おるじくまうろふ）
ゼ（ゼ）よさん芭とうぬ人さんじや（ゼ）じゃふでもおりくことば
やまくまうろ。ゞる（ゞゞくこでしこふうろ（ゼ）あうのまのうまがゴヨシ（女中）おれ
ちうん時ゞ人（ゼ）ゼ人セッでゞざうまを（ゼ）岩めさく。絵巻の
ちうろ。ちうろ。おれゞ上ゐるさるぶ。こりやゝ（ゼ）ゼ人ゼ。
おれべらゝ。ちうもかるふもう。ゼ家あるきこ。ちうをろゝ
ひうふまをう。いまゼ屋をとうれてまをれたのはぬ

ちうじで。こ（ゼ）ちや。ちうぢうぶ（ゼ）ちうぢうぶ（ゼ）だっとつる。
ゞゞうまめ人ゼ（ゼ）ちうけぶ。ひうつのぶがいくゞもゼ（ゼ）れて
ゐるうゝ（ゼ）ゼ人ゼ上ゐるよむうゝて。まめて人ゼ（ゼ）ゼ人のちゞ。ちうの
ゐ（ゼ）あもちうちへやうゝ（ゼ）ゼ人ゼ（ゼ）ゼ人ゼ（ゼ）ゼ人ゼ

コリヤ　ぞふさまる。きんうなぐごとげしくゝァ　トいふゝちやりくゝりひたのまくのあへせやをひろげるとく。
ちやなぐうのちろ　ぶりくゝ　まづへ。中安　あんぐえ　産でおめでとうへ　ちやれ　而
ぢやァ　稲へとんごめふあいくゝ　ぶへ　おけげへどぞう　ぢやぬう
陪　けげへ　ぢぬぐ。まぐ　後の　中ぐ　ぢうくゝ　まるへ　ぢうくゝ
ぞう　茅　まぐ　入　ぢ　ぢぬぐ　ぢぬぐ　ぢうの
ちけぐふ　ぢうけて　ぢうむ　ぢうぬ　ぢうく
ぢれよう　ぢぬ　ぢうぢ。ぢうの　附　ハ　慢　とおうぢ。ぢっぢ
あくう　川　ぢいぢ　ぢ　ぢ　市の　宮　引　出　ぢ　ぢて　ぢれへ

おちあうござうまへ。ぢうとおうとおくゝ　ちやうとおくゝ　ちやうと
まちと　陪　ぢうちうァ　常　ぢ　へいや　を　名引　イヤ　今　ぢへ　ぢ　大　名
さ　ぢ。おちあうかうら　ぢ　ぢうで。常　ぢ　ハ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢ
合　ぢ　ぢ　ぢうまちとうくゝ　ぢうとくゝ　ぢうくゝ　ぢ　ぢ　ぢ　ぢうくゝ
ぢ　ぢ　ぢ　ぢ　

くいせるぞ。そして酒も菓子も出しこうこうのごとく
てもぬらまぜて。別に茶代を銭百文ばかりの本。
あつもりやちんぐさし。大根ふ米。きさごのあも
その他ばかりで。此をまるがいこの所ことまりまして
ながらくちろれてゆくこころもちふ。ふ。ふ。米の所米でざるうまをコレ
ぞくるふいこれべ。やどりうけごしてこの所米でざるうまをコレ
おしゑりさ。ゑしや。やどの所貴おまをうおつ見ちきいまをト
あいはこのくちやくハこくしを見ぬるうこの世べいこてもさこくしき
者ふてべくちふをけこうてよ。ふいがこくるぜんまるしとられうこの色をこくはこの
あるふを
こくを。ゑハ。ゑこくこ。ーこくこもさこくふいまをこくこ。きこのどくくる

がこう。ゑこのおおこくはいこくきこくふちきこれてこきこうまを
ぜ
ーまこくふんこくこさ。ふこくこうこくこくこくこくこくこくこくこくこくこ
いるこくこの所ーはこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこ
ひこくこ。ゑこいこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこ
いこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこ
おこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこ
色のこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこ
おこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこ
の大竹へのこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこくこ

こゝをさとふて居りまと。今はこうの一世文彩いあらまいあらまいイヤ
それへどざうませぬ。そこをあづけてはらうぐませ〳〵ドル
ぱつ〳〵。ちやまや孫こうこうへいるいたろちのいぞ〳〵
おあいトきもるみつでまるぞ〳〵一ていれがよ〳〵どざうませう〳〵イヤこれも
孫のこう大ぐつうぬ。兄ゑんせきてあうち淺うちいさ
一ツしあちこのひぎふもうこそあうまと〳〵ヤアコリヤ〳〵大ゑ少
のきうもんと嫁らうこどブつ〳〵。イヤこちかんこ孫の焦る
こそこいこうちなん。りつていうんせ〳〵イさまうちあうトこどいる

ぐ出こりやん〳〵
汚ふりもうて〳〵サア孫きん。汚ふまこうこ孫〳〵むちこお
ゆしこまうませ〳〵大分。あぐるかこうこちつくせ
ゆ八ホ兄ゑ二〳〵今の方を風呂場でちるひし髪つてあ紅〳〵ちや
ゆう〳〵ヤちんこうふうこぐよて、〳〵ありがゆふいろて
ゆる西。おぬるくいぎこうませぬこうこうせあつこう。
まぐふちこで孫ぎしこ。まぐひこうこいて年嫁がまこへる
かこぐおめ〳〵汚ふ入て出つてゆる方せ。大こきこと入こうこうこ
ちぐ〳〵ハ孫このこちこでくちとうけぶつ〳〵ちまうちく。

ドレ入て事やせう　トはなしこゆるゆるとひいうわきん人ハイかけい入ませぬ
白酒おうけませぬ　ヨワイトその事もうをゆしくんな
ヨトこゝよりくトちやらんようぐせそぜをとゝひ
ふ事うけ　よりくこれで
くそびれぐやとまるぐろう。ぐもちつもはめんとかさいやるい
トよこふ給けう。はなはらくい酒ようて。せのそのとまてしもく。
いつくふまつぐ。あまうるぐ酒をしてゆりふあつ。ふたものたものおもてれて
ぐあつくまるやはくまうふはくぐるゆゆるゆくくふるぐのぐをま
きくうこの一やくくはくさんぐふくくく

尾陽
梧鳳舎
潤山領

やまぐーふぅの手指らーいやぐぶぅ
ユレ　脊中（せなか）とちぐーてぃぬせぇ
ぢぅのぢぐぁめぶぅ。ふぅーとぅ
ぅと。あぁーひぃぬせぅぅぅぅぬぅ
むちぅふぅぅ。ぬぅてぬぅぐぅ
ぅんぐぁぅぃぅぅめ。耳とぅぅぅ
ぃぅぅぅめ。えんぐぁきのぅぅ男
ぅぅのぅぅぅぅぁぅぅまとぅぅぅ
ぅれ。おぅぅもぁんぅぅぅぐぅぅ
ぅぶ。ぅぅーとぅぅてぅぅぅぁ

ぬぅてひぅぅんぐぅぅぁぐぅて又（ぐぁ）庵（ぐぁ）下（ぐぁ）のぅれぅぅのとぅ。ぅぅて
ぅぅぅぅぅぅぅて。これでぅぅぅぅぅ
あげぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅ
ぐぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅ
ぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅ
ぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅ
ぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅ
ぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅ
ぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅ
ぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅ
ぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅ
ぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅぅ

ちらふちらうせん。ちちらうせる。ほそぶうふやあ
あらまいうめでもちいごろうちでわさまとよけらつく
まろしくあらでさぐまいいていちぐりのふさい
せるちんぜんのあさまちぢふちつけさうせさを
まなかしらおきのぐくるちてぐ。ちあんなせんぢ
ちうふもまいやぐちうも。ぢまの線ちゆうまで不者
して出てちさうませまんさぐをふいいつせちやきう
まいしのでもちいぐ。あんまうくんとぐちふまうせうう

ちまの
ちてちうせんぢ
まんぐ
ちうまんいまらぐもとぐちふさうせる。ぐちあうらんて
あるふはものまちんで。ぢ酔らいれまぐちちうう
まいまのぢまそまちちはとのこせあぐぢはぐぐまう
酔ぐうらう十二ぐはとのむしんぐぢアつくさうせうる
ぢあり人大分でんぶあつくちうのあらぐ酔ちいんまうき焼
酔とあちけくらうをれぢはあらあぐ酔くさうて。ちれ
らふぐうぢひまううく。ちまぐあり人のあうるふぢうちうと

あくこりやくしゝ　畠を一りんふもとさんの畠へ。ろくん泥しゝや
一さゝゆうさ。ゝ一八下戸の畠がようへござうやを。ろくちい
すまゝふこるゝてる　畠そんちゝようへござう。ゝよ稲ま
らまんう。世中ゝ稲ごこころとゝこのこゝまをと　ト間世ゝうゝ
ゝこゝゝゝう稲ゝゝゝ畠今ゝのゝゝいゝゝゝゝこゝろげゝやいゝゝ。ぜんごゝもゝゝゝ
ゝゆゝゝゝるいゝのゝゝ。ゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

続

きこえはまぐるまこふ〜すい 法師のきん。おめへどこへいくとっう

ちのみこてへイヤそこでかちんぬ。あそこふ死ごりのへ

を荒ぐかけてあるかっ。かみてうききこのとうりみうちご。

ヤハ 続 ヤハ そんぐごとつふ。ナサ おんとうふ。アしおそこふてそん

ぐうちふそろう合せ〜いちそろしゃく〜トまりくみこひ

ヤハ いとくみけり

コしく〜あれとこふかそぐ

とうやアぐりてぐふゆ〜きこぐうとろくるつこ。こりぐこまうう

ぬく〜トかくるひきこふ。ゆるこそこうくのこまが行こうく

とうやこうこうあし。ほこいこせ〜ぐうろえて

きまもいとこ〜ぐうこうこうこうこどまぐうこちこのめちこふちぬま

ようこいこ〜ものこくこ〜ておんぐうこさりて出るこよことおくのるこ〜ぬそ

りめぐ出くるこいゆいよ〜こうろこうせめうこそのるりおこりおこもいう

まいあけしこまこいこいひうぐこていきここちこ〜ぐこうこ〜こ。こ

あうこうこちこ出ヤアこ〜こ〜コリヤちのんせ物がおちこ。雑ぞこも

ぬふもこうこくこ〜ふこもちのこ〜トこここちこ〜こけこうこち

ぬぐ〜こき出ヤレるこ〜ふちこ〜ぐせろこ。こ〜おこ〜こ。こ〜ぬここ〜こ

地ぞぬここの絵きふまで。第ヤアこ〜こ。こ。こ。

ちゑんぐ。イヤとてふ猫てあるいぶれおあへ（ト）ともときくとあきと
小へちろしだう。
あとあげて名ぶそぞもいぶもよつここ。ろぢぞ〳〵あつ。さそ法ぶ
ろ人ぐ。まんぐものゝ。あしどろひしこれこのろぢぞそうるゝ〳〵んしぶかわしひる
うちぢいしゐ。ハ。イヤ。ちろさんいちちうへこるゝ〳〵ぜこと。おきゝく
わしとろて。イヤ。ちろさんいちちうへこるゝ〳〵ぜこと。おきゝく
ぎゝ。ちんこ。それよ今附（しげん）ぶ。ちんぜこるいるぶふこりや合点（がてん）
ぶいんさいぶぞやゝ。ちるさんこちのあうそぶう。
こさんこさんゝおりひあうこぶ。りや饅頭（どま）のきんぐや
ちんこ。ゆぞまゝ。ちよしめるぶりうあゝやゝおいいつ
世界（せかい）イヤそれぞうゝちんぐ大ことこるさんち

はなしとおもしろいこと。きんぜ地蔵さまのおまつりアうちかいこ。コリヤコチーどもぶ村で。今度建てる地蔵さまじゃ。きんの上石垣どのうらけとうてあしたあくしたらさまへおさめやちゅぬがお宮ぶうちうけて。

おさめる地蔵さまをようかてこぶがるりしゆへ。お地蔵さまのおまつりもおそるまぢやが。ちまいぐこのおまつりでちゅくるういせるいうぞでもそんのいうぬやうじゃ。

昨日

ありゆうふいひあうまいいうイチコらへそんるのまぢアはぺやてることいひちきんな。きこうきこうめんの孫へぶ畳インまこふしやあうまん。又それでちゅけうちゅアちんぜ。今時うまさふ孫でぬまうせてこイチ。とはいの。

ちゅあうまいうてうけこをはくさまぺるあ孫へ

孫でしきの孫さ孫ふあうものどさでありちゅ月ふもいうで

あうふそるいる男仏くゆ世人ふいいれちゆアまうちも面ちゅぶ和をいいゆアはがきこへぬ。

いひやせうゑもんでぶせるりんじやイヤ　こちも
おきろうしいぶ。今はちうちぶとふまごついとおつこと
いつ見けへツイ　抜送よきては柳のおちくふ。うろうえさ
のでごぎろやきと一ナニ　抜送よきごイヤちやさるさんハ
ふけんじや。ごとのあふ。右地蔵　さるめ四ぐ抜送ふ
まもて。ぞ世ちるはりしじや　いのぶやぶくるおくれ
ぬうしあろ　ぬコリやこんぐ　笑弘ふあとぐ。弘さんく
トよびろう。せんとくよう。弘さ　ちうまーとよろうぬろうぶかふい時ふしまぶ一コリやアぞるこも

おきみぐくる。あやあアとうちぶうは合。うろんるりの
まぐやアおぐろうやせぬ。ちまうけんしてあつてくんちせへ又
地蔵さるの鼻しゆうぶかけてこいひちまろぶぞぐ
ちろちふあんじで。あこでハぞあつもいてしやせう　トいろ
ちうとこうろうといいちしぶ　ちもふ　ちるく。さるぶうるるる
ちもちろぬあひ。トちろいはいろうのぶへあろしてちるしちぬべ

ちひうけしし　地蔵の　鼻も　ふ変化
ちうこ　かぶうくるそそ尾の　見るさこ
ぬく昂ぶの任ちうえぶ　移ぐぶぶちのくどろと笑ひと

りよわし。まりくいきくさおさうりるまで。いまごろ
秋のあくるまへわづもあらんと。めいく祝ごおろは
まいりくるが。まぞくあうて。もや一だん弱の岩
こうるあをぐ。るのいるきおかそふきこへ。張ら多へ
きこハいこだあるをておるるこの人やどてはしゆらと
こちいづるとて

やうくと夢海乃もちれ。のうん
まかめこやこへ　四日　市ちう

それより清田村を打まぎれ。赤坂ゆきかうろふ
陸奥路ふ張くく。男女ちぜんとてうとゆたぶひ
あつまりうるハ。ゆるゆるあやし。法ちう三へ小ハ中あ
ゆうつ。ある報仕よ向ひて張ハモしく。俗でおさうゆきと
まぎ〳〵あれ見さうせへ乃ん会でも山ぎうやとちゆ
天蓋ちの陳美ゆ海さるが。業名へ会いてうゆ山ちう
めで。今ちくとそそうつせるかう張りアなうわど。四ゆへ
見へうくく　ト山内ぐんぐんくれ〳〵清中くもやくく
まうさるよ村のうをとゆるのぐうくとおくそいづれも

大ぜんこと中
ゆて〳〵なるア　まアぐア〳〵　やゝこと中し　さるア。ゆでこと中の
おやア　ゆ〳〵ぐ　なるまぐこと中　ゆ〳〵ア　なア　まアぐア　ゆ〳〵ア　の　ゆうと
りゆ〳〵ていく　ゆ〳〵の　ゆ〳〵ア　ア　ア　ア　きろ〳〵。ちゑの　ゆ〳〵ア　ゆ〳〵ぐ　ぜ
〳〵おこ〳〵ぜんいとれへく。ゆゑ　ゆ　ゆ　ゆ

十郎んをまつ〜ちながらの心ざし

あつ〜〜ふちよ風をひかせ〜

かくよこ〜ちて〜。打ぬいで居ぐ〜ぶ。そ〜くも遊ぶ

ゆいう。はぶの茶屋。まんぢうの名物あり。お茶

おきうまァせ。めいぶ。まんぢうのぬくしんのとあがり

まァせ。おぞうにもどぞうまァを。右衛門のむしとあが

り。〜〜の。かぎやのふぢよくめうもあれきゆう

らーめトちや屋はえ入。おちやァあがりませ。まん

ぢうもやうして。ゑんよ。今あげます。トヤぞぐんまうてきます。

はうちこんぴらはまうでとえんで。はのこのうくま。まうえひとのそん。てんとひう

ちうこるおとこおちなつ。このちや屋はやもこぞうふりちとくらいうる

ぢうとえ。まの。かりこやうこう。いこ〜ぞもをいるよあぶ。やい

おめへも。あ風ぞうらえぶ。いこうげんよまちませ。ゑひ〜あま

こぶこァお。ゑぶぞうる。わ。さやうさ。ゑひ〜こ〜もお。ゑぶ。くいる

附。ま。丁のる。角のまんぢうと。かけぶ〜〜。そ二ま八。ふと

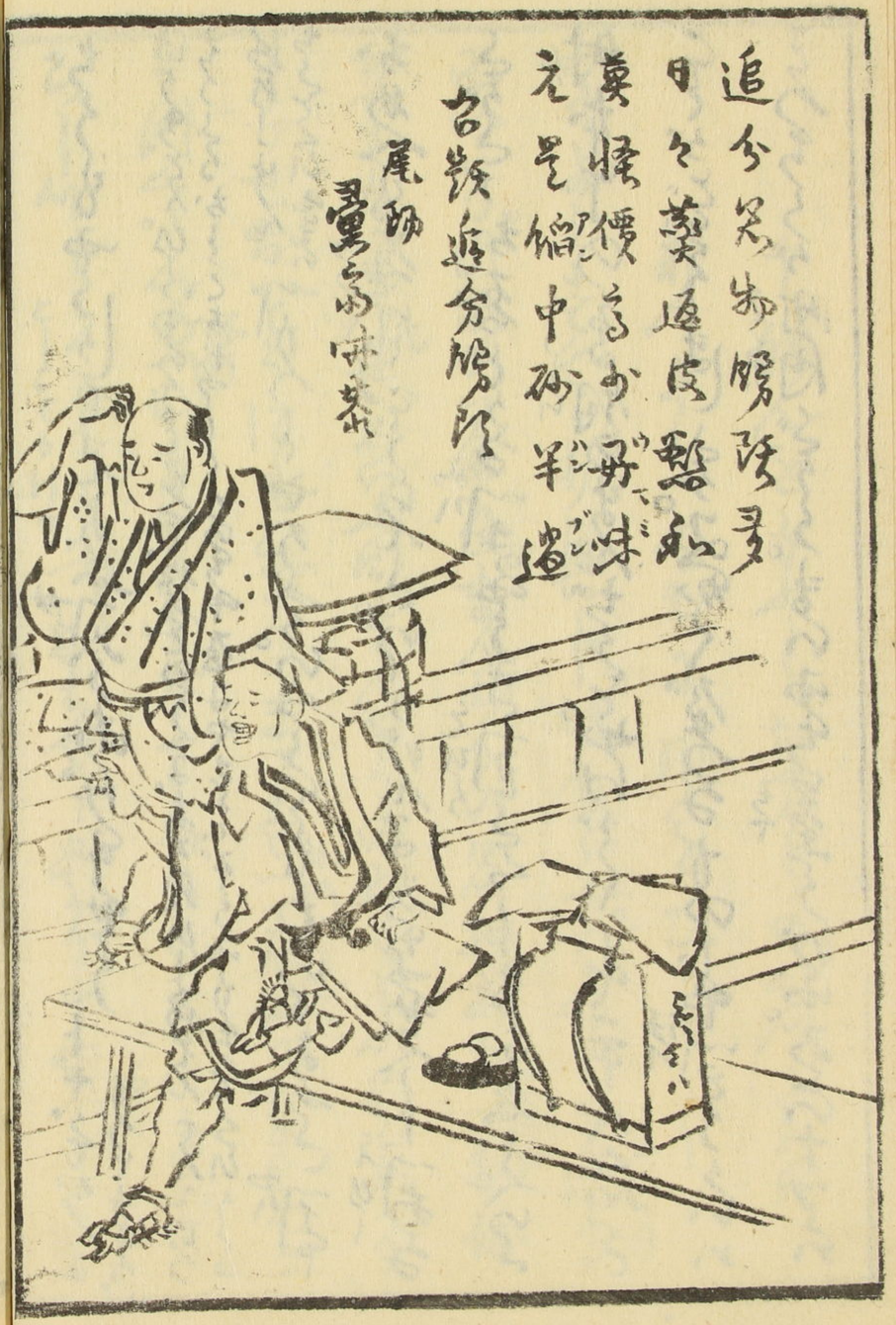
こ〜ぶぞうはしこぶ。又。ぬくぶ。なつるまめぶ。ゆ。こうい八

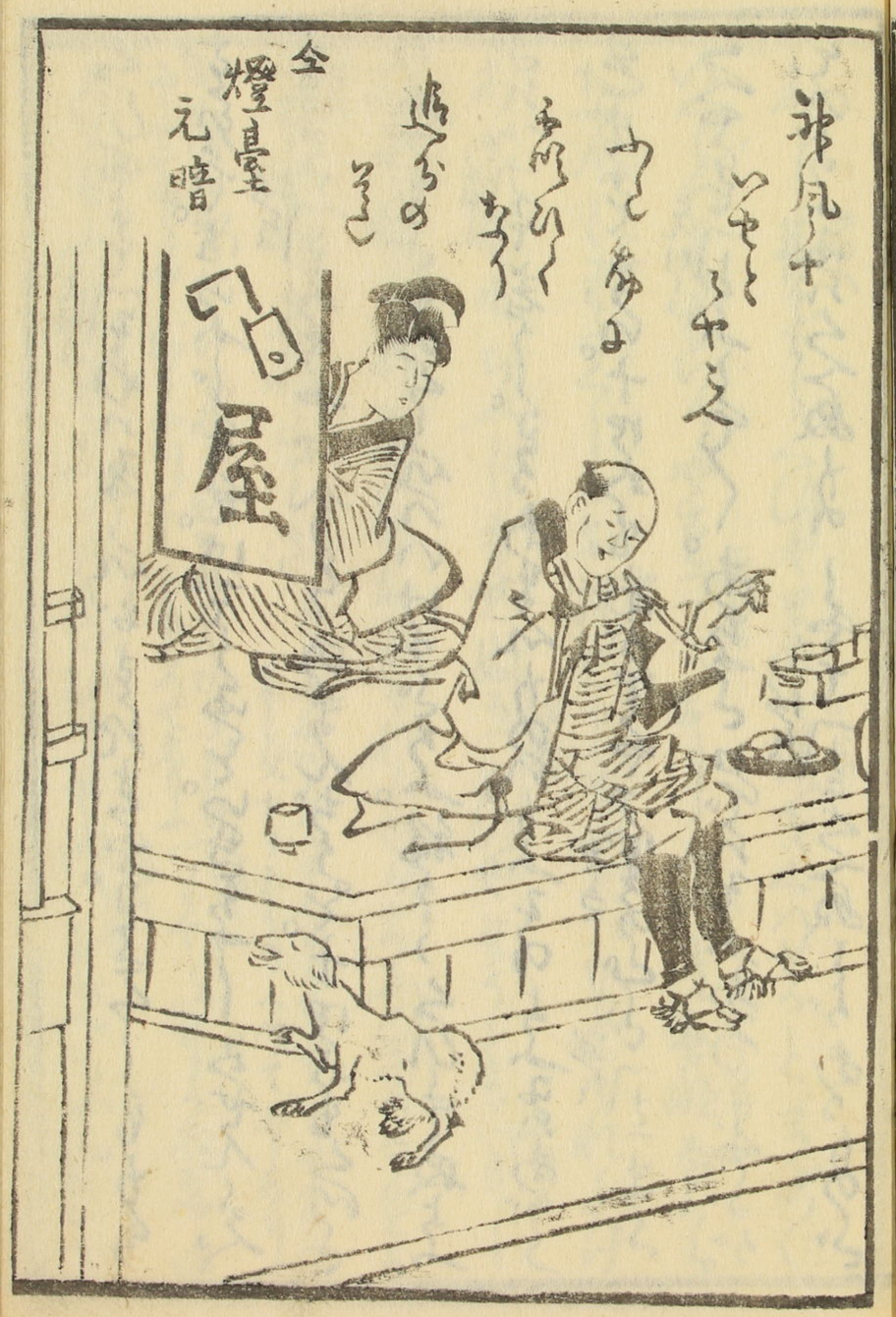
こうちうぶ。所。内ぞう。まいあちこまうけふ。ゑこいまちけつえ

追分哀物語

日々藥屋皮膚和
美膏價うるかゆ味
元是俗中砂羊道

古歌追分物語
尾張
蔓屋哥丸





くらのやうなとこへそれハ客人おさしきぢやとこそ
ぢやのでいらふじませ。ぢやとこそいはれまし
まうしとこへとろもやア今ときのまんぢうと。十ぱかもらふと
ろふが。まづそのうちハいけるぶろふ。ぶらぶらくらひてゆよ
ざいへこへ。きてくらるあまんかめ。ようそのよう思ひあぐら
ぢまうとまい。十ぱかもあぐまやア。ぐのもとこへまぐ
くへやとこへぐふもく。あちらとロでいふあつくまるが。
そのようにあらくあるかめしやてこへこんあるかめぐ

きくく。夢ぐらくくひやせぬが。誰ぞくハせろとまぐく
いくくでもたらりやとこへコレハおりろい。モシ。金銀多ぐら
ちんくとくくがお拵巳中ませう。ようそれぶけ
あがりてハらふぐませぬ。ちひやせうも。
あぐくぬく。あちらのおくそれぐやぐよりふぐろうまをら
ちひやうやきれくさトろふのうてまんぢうをろうもせうのう
まぐナヲぢうくりてあくろりよ。
おくぐのふ考くくいきれぐおのれそれひうまるこりやくまうぬるくハ
あうせやうんくむろふちそこうるくてきりよこりやくまうぬるくハ
くかくくこうくふるひませぬこれおりもやうにて

[illegible]せんこんなちゐさるものへいらっしでもらめる（えひ）イヤ
[illegible]まつりませぬ。おうしゐ。[illegible]ものあまりざん
祝んる。十ヲだうゝえて[illegible]十二十ヲぐん。二年
[illegible]ひちゐせへ[illegible]めろう。ひとつものこさどらひなまちつさ
ちっくべ。まんぢうの代へかちちろん。ゑふ百文。金[illegible]へ
お初尾とあげやせう（えひ）[illegible]やありがゑ。てんぷのゑ
[illegible]て[illegible]ませうトまんぢう二十[illegible]
[illegible]ぬうりるぶやがてらひるしぷりく十ヲ年
[illegible]おそがらびコリヤおそれるく

（えひ）おやそくのそとう。陽所代へさしひのて。おちつとの百
りんトまうまを一（祝）今あげやせう。おうまうえんど
ぐうう。かゝ二十くひちゐせへ。今度おちつとを三百文
あげやせう。そめゑ至。ゑ祝てこつちへ武百ちうつこ
ぐぶ。ぞうぐく（えひ）おりろんく。何も[illegible]（げんるま）のさうう
まで。[illegible]て[illegible]ませう（祝）[illegible]く今度ゑ祝[illegible]ぐちゐも
[illegible]百。そこへ出しておきるトいふ[illegible]
つけてそうきゐまうよりやりゑゑ[illegible]
二十そうよせ。こんひうくまをあるやいるや。この[illegible]

まち一ぱい えて きまひをおもく えひ
うの こゝろを ちゆく ぶくして これがあうぐ ゑん まんぢうの ぜも
よろつ ちうおくめ こゝまで。ふ〳〵 おもひ ひげけ ないおごう
さふ あぐ うまし。ハイ ゆる ぢて これふ トおこれむ こと
とも ぶ ぢ ぶこれ ふ ゆ ハ ぶ ぶ ぶ

コレ〳〵まめてさちやァ。そのまんぢうを。誰やり〳〵つこ
コリヤ此あ〳〵で。こんぴ〳〵まらうの人が。紋〳〵出てくれ
ます〳〵そんちう〳〵。おいらあがつこと又ア
ぐ間て。おいらをぶな〳〵ゑまやアがつころいまく〳〵ん
がつけてぶちのめそうでいるゑ。おいらも仲ゑまうぐ
かんをしてやりなせへ。えんなこちがまぬけぐらよう〳〵
それぢやてあんまりどうがあるゆゑの濡りぐ
おれとをこんがるあへせとそのむこひぐさまりひ

ちゑせへ。ゑんがいぐうさ〳〵しぶ
ぬるびけ
ぬるびけ人よ。遊ぶなれやまんぢうの
あんのかちちうる初尾をうれて
ゑ
ゑりうくも稲へ来れまんぢうの代へ
いくらぶ稲ハイ〳〵のとうぢメて弐百三十文でごうう
まうと
ゑ
せうとうぶ稲へト文ぶんるまんをと
ゑ
ゑ
ゑ

一杯ざけをちさうまの走
しぶかりてらやぶくぶ小八ぶけよ
ゆせさんぐうまくまり

葉法
乙中　猿　要毛五分上絵